

(件名) スポーツ・コンベンションセンターの整備を求める陳情書

(陳情の趣旨)

柔道競技は畳が必要な競技であります。現在その畳が常設又は常備され競技の実施が可能である施設に限られており、その施設を使用する場合は、他の競技団体との日程調整に苦慮し、競合する場合は使用不可能となるなど競技運営に支障をきたしています。

また、現在の県総合体育センター武道館は、競技規則の基準で示された競技スペースを確保できず、また、観覧席もないため正式な競技の開催ができない状況にあります。

スポーツ・コンベンションセンターの基本構想で示されている規模は、県大会はもとより、メインの競技場ではこれまで中央競技団体から打診がありながら受け入れられなかった全日本や国際大会規模の大会の誘致・開催も可能であり、大会を通じてトップ選手の試合等を目の前で観戦でき、青少年に夢と希望を与え、競技人口の増加にもつながるものと考えます。

さらに、ドルフィンポート跡地に整備されることで、過去、県大会に参加した離島の選手が交通便の関係で試合を棄権したり、表彰式に出られなかったりといったような事態も解消されるものと思います。

公益財団法人鹿児島県柔道会は、県の基本構想に基づきスポーツの拠点となる施設を一刻も早く整備していただきたいとの思いです。

このため、次の2点を陳情します。

(陳情の項目)

- 1 大会等の開催を通じて青少年に夢と希望を与え、競技人口の増加とそれに伴う教育的効果にもつながるようスポーツ・コンベンションセンターの一刻も早い整備を進めること。
- 2 武道館の観客席は、大会等を開催するにあたり、試合場には試合をする選手以外の立ち入りは原則できないことから、選手控え席や応援者席数は競技参加者の2倍は最低必要である。従って観客席の削減は、運営上不都合が生じるため、基本構想に基づいた席数での整備を行うこと。